

時と砂と力の展

www.way-art.com/sandmuseum/

主催

財団法人シルバーランド振興事業団

協力

WAY art produce

会場

仁摩サンドミュージアム

展示期間

2012年4月26日(木)～5月27日(日)

休館日 5月9日(水)

OPEN

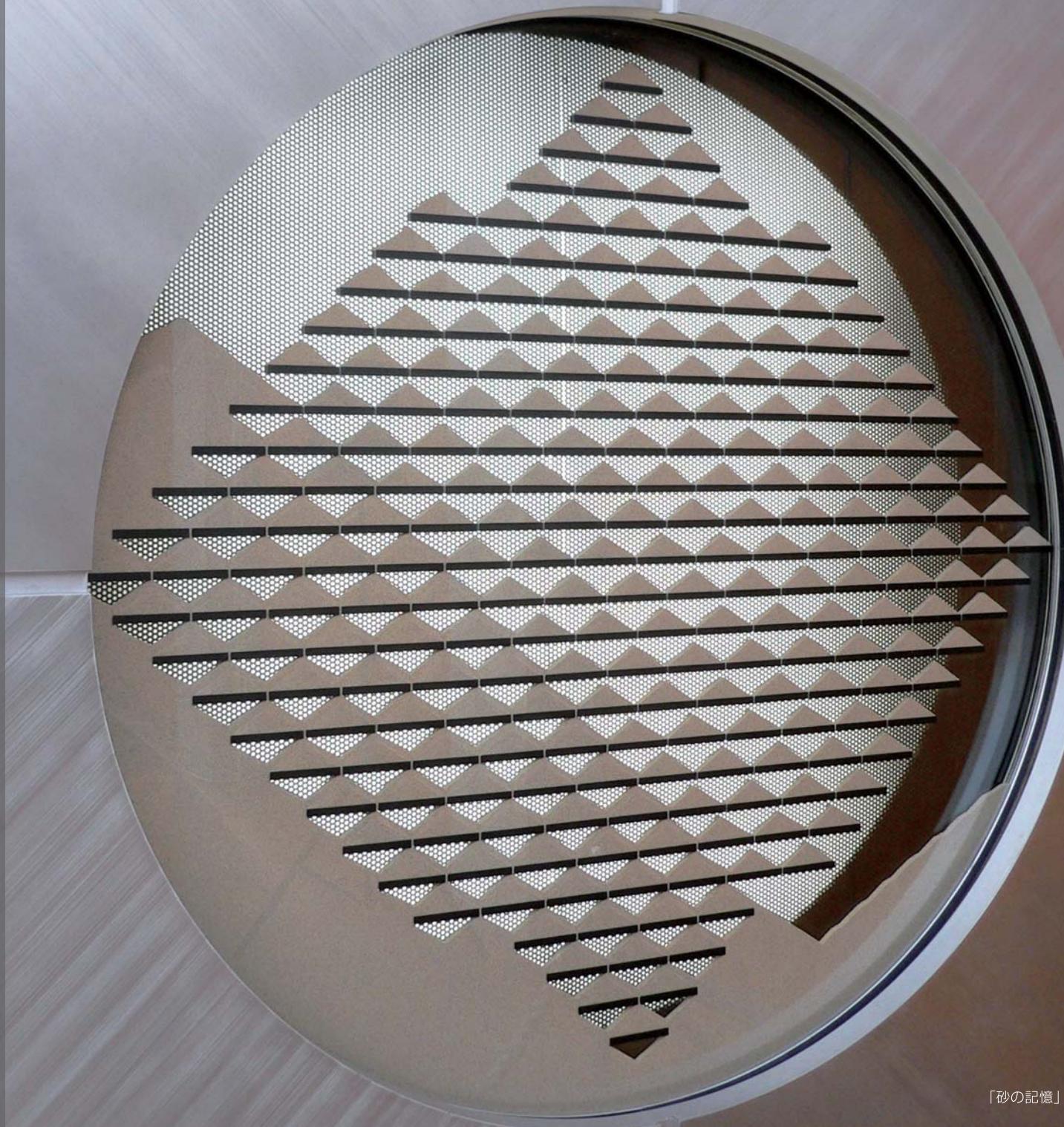
9:00～17:00(入館は16:30まで)

GW期間中(5月3日～6日)は1時間延長

入館料

大人:700円(高校生以上)

子ども:350円(小・中学生)



「砂の記憶」 渡辺明節

“時”は流れているのでしょうか？刻まれているのでしょうか？

そして「始まり」と「終わり」はあるのでしょうか？

“砂”時計の中の砂は、二つの空間を移動することで、

目には見えない“時”的気配を私たちに伝えてくれます。

“カタチ”的あるものは全て、時と共に変化しています。

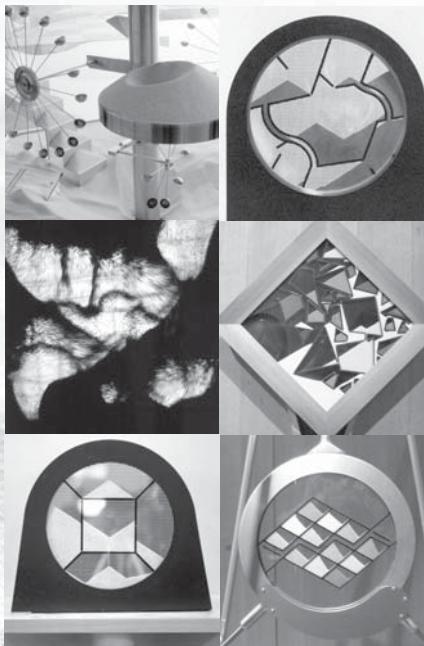
止まっているように見えるものも、ゆっくりと動いているのです。

「時と砂とカタチ」展では変幻自在に姿を変える粒子を媒体として

“時”という、実は不思議な一次元を浮かび上がらせます。

一年計砂時計の下で、唯一無二の世界を体感してください。

そして、もう一度“時”について考えてみてはいかがでしょうか？



出展

渡辺 林太郎 way-art.com



主に音、光、波などをテーマとした造形作品を制作。

略歴
1986 東京芸術大学大学院修了
1987 株式会社 ウエイ設立
「社会に機能するアート」をテーマにパブリックアートの制作及び各種展覧会を開催
1990 渡辺明節の作品管理を引き継ぐ
2003 流動層作品「輝泡燈」を制作

特別展示 粒子との出会い(美術作家とのコラボレーション)

様々な分野で活動している美術作家たちが「粒子」をテーマに制作した作品を展示します。直径300ミリのディスクと回転装置を用い作家独自の解釈で小品を制作します。普段あまり扱わない砂や粒子と出会うことで生まれるインスピレーションをカタチにするものです。

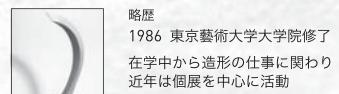
小瀬 雅道



画家

略歴
1989 東京藝術大学博士修了
1997 第14回山種美術館賞展
2006 第3回東山魁夷記念 日経日本画大賞展
個展、グループ展多数開催

伊藤 信明 造形作家



略歴
1986 東京藝術大学大学院修了
在学中から造形の仕事に関わり
近年は個展を中心に活動

日比 淳史 atcave.jp



金属(特に鉄の朽ちる姿)の作品を主に制作。

略歴
1993 東京藝術大学大学院修了
1993-NHKなどメディア参加、インテリア、店舗アートワークなど初める
個展、グループ展多数開催

橋 智哉 st-t.net



金属を主として使い、彫刻や什器等を制作。

略歴
1999 東京藝術大学大学院修了
スタジオ タチバナ開設
文化庁現代美術選抜展他、個展、グループ展多数開催

丸山 裕之 marucom.info



WEB、アニメーション、イラストを主に制作。

略歴
1997 多摩美術大学卒
1998 筑波大学心理学研究生卒
2001-フリーランスデザイナー

常設展示

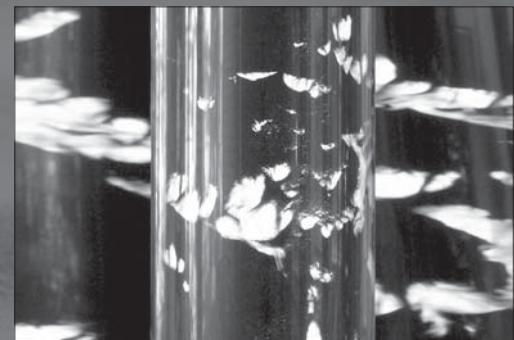
故 渡辺 明節 美術作家



略歴
1929 福島県いわき市に生まれる
1951 東京藝術大学日本画科卒
1983 「サンドインスタレーション」を展開、大きな反響を得る
1990 没後、仁摩サンドミュージアム内に於いて作品を常設展示

主催

財団法人シルバーランド振興事業団



輝泡燈

協力

WAY art produce

way-art.com

仁摩サンドミュージアム

www.sandmuseum.jp

〒699-2305 島根県大田市仁摩町天河内 975

Tel:0854-88-3776 Fax:0854-88-3785

至 石見銀山

仁摩図書館 ●

大田市役所仁摩支所 ●

▲仁摩サンドミュージアム

至 大田・出雲 ポプラ ●



江津・浜田 至

山陰本線

大朝ICから80分／江津ICから40分／三次ICから120分／
出雲ICから50分

出雲市から60分 仁万駅下車(徒歩10分)

出雲空港より東京、大阪(伊丹)、福岡、札幌、隠岐 便が就航